

福島第一港湾内・周辺海域の 海水モニタリング状況

TEPCO

2017年5月29日
東京電力ホールディングス株式会社

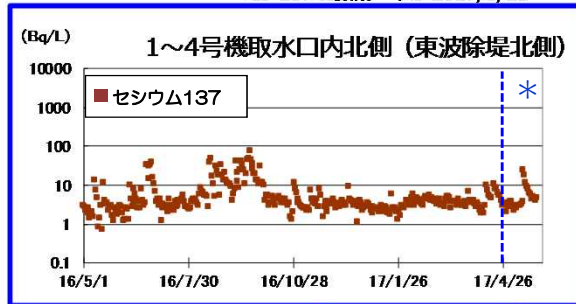
【1～4号機取水口開渠内】 海水サンプリング結果

■海側遮水壁閉合以降、放射性物質濃度は低下しているが、降雨時に一時的な上昇が見られる。

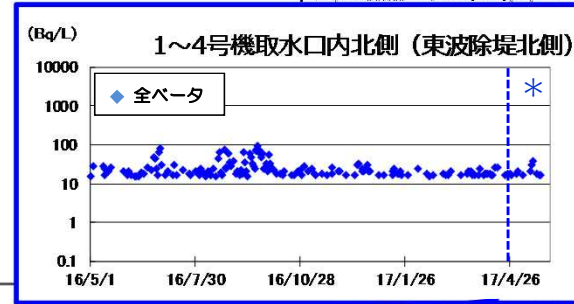
法令告示濃度（ベクレル/リットル）

- セシウム137：90
- ▲ トリチウム：60,000
- ストロンチウム90：30

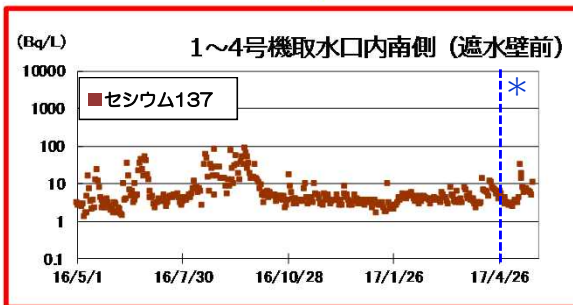
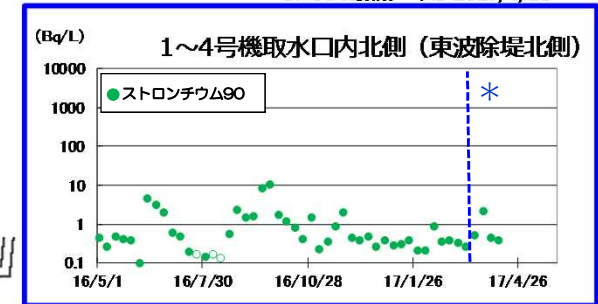
Cs-137の最新データは 2017/5/25



全βの最新データは 2017/05/21



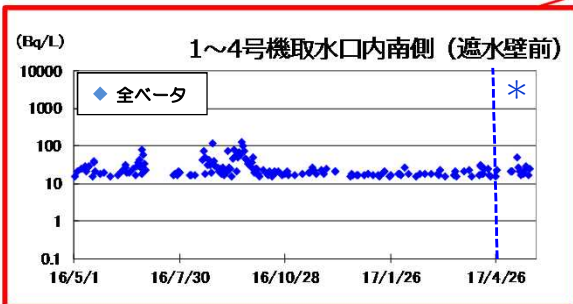
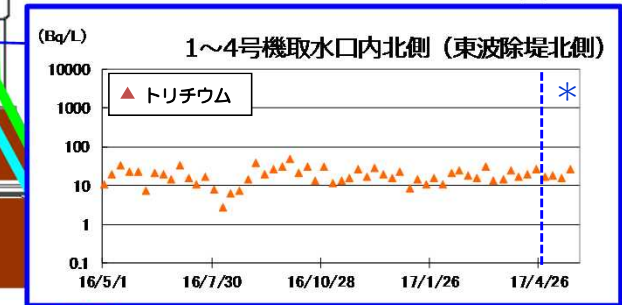
Sr-90の最新データは 2017/4/10



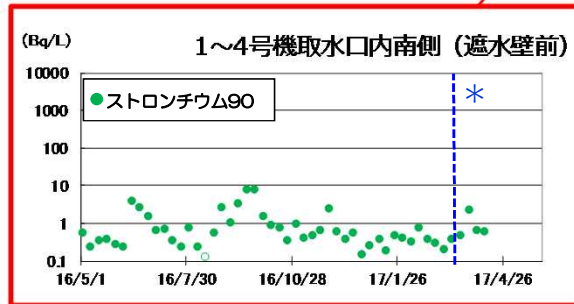
Cs-137の最新データは 2017/5/25



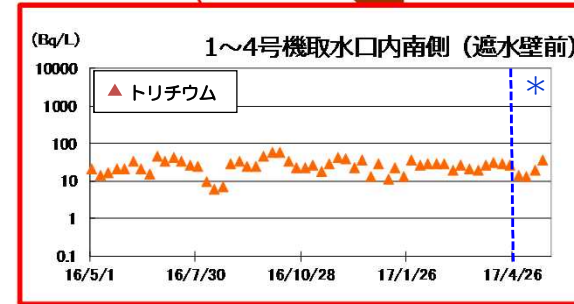
H-3の最新データは 2017/5/22



全βの最新データは 2017/5/25



Sr-90の最新データは 2017/4/10



H-3の最新データは 2017/5/22

- セシウム137
- ◆ 全ベータ
- ▲ トリチウム
- ストロンチウム90
- ストロンチウム90検出限界値

※ストロンチウム90以外の検出限界値未满是プロットしていない

* 青縦点線：前回までの報告分

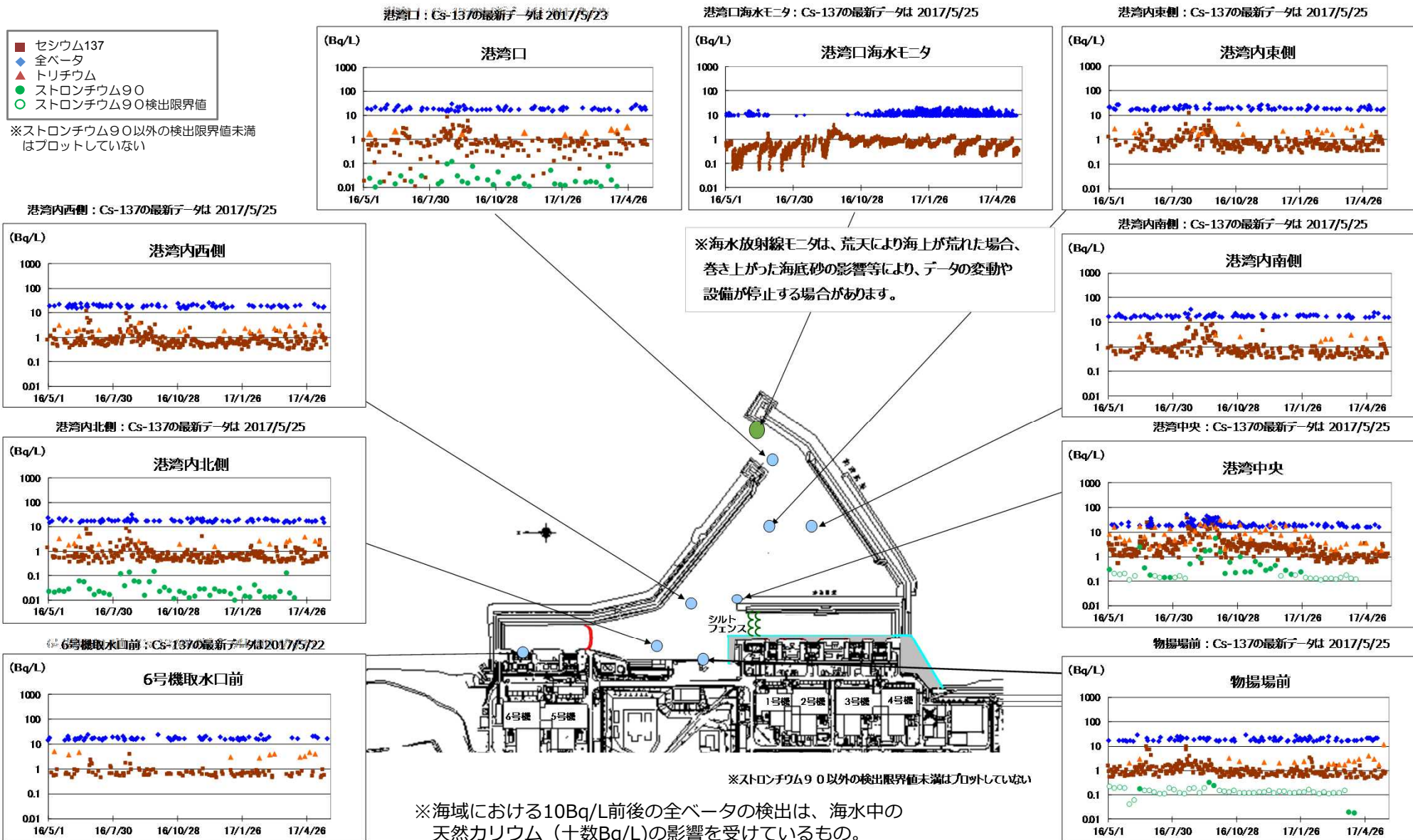
※2015年10月26日 海側遮水壁閉合完了

※1～4号機取水口内南側（遮水壁前）は、最後に遮水壁閉合を実施した箇所。

※海域における10Bq/L前後の全ベータの検出は、海水中の天然カリウム（十数Bq/L）の影響を受けているもの。

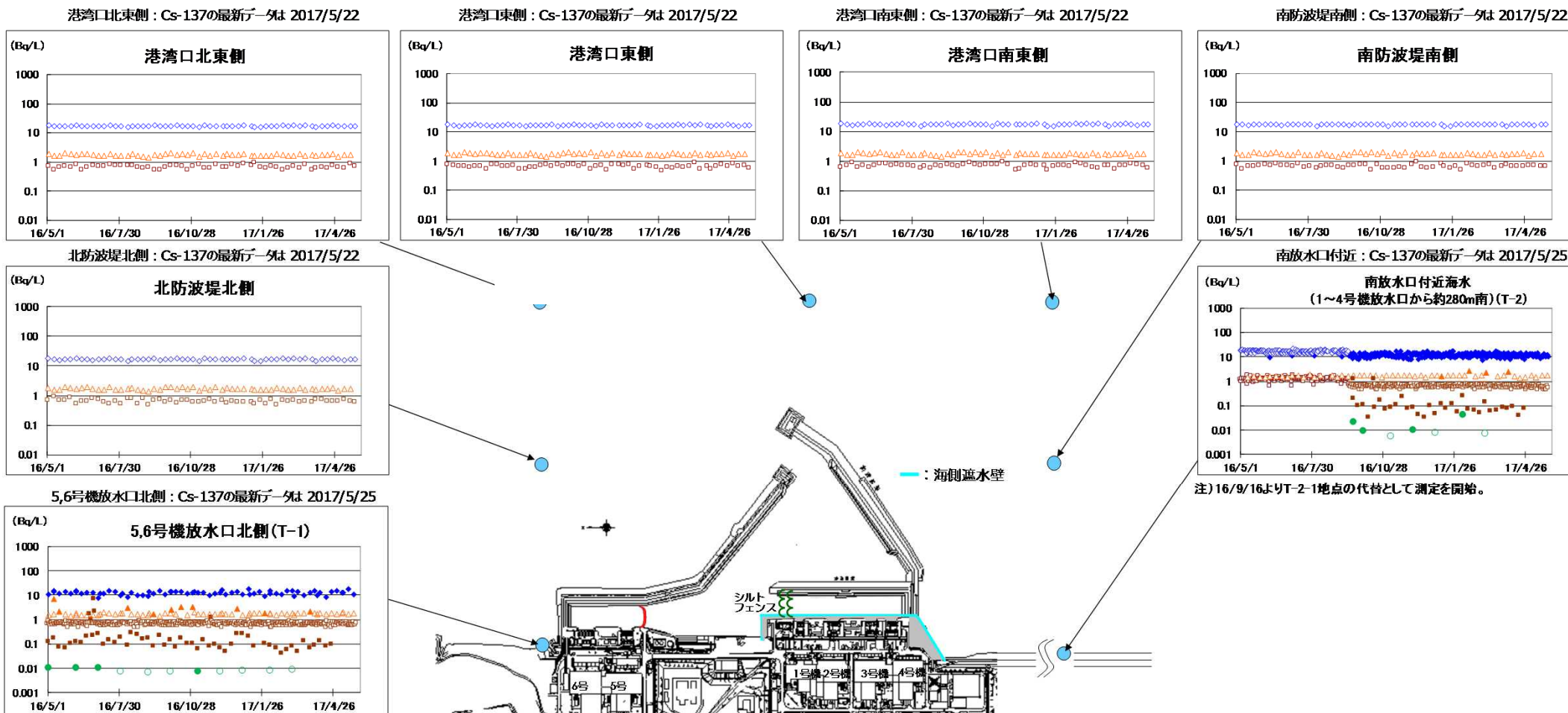
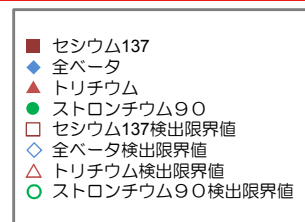
【港湾内】 海水サンプリング結果

■ 海側遮水壁閉合後、港湾内の1～4号機取水口開渠の外側では、海水中の放射性物質濃度が低下し、その後は低い濃度が継続。



【港湾外（周辺）】 海水サンプリング結果

■ 港湾外の各採取点は、従来より低濃度であり、ほとんどが検出限界未満を継続。



※海域における10Bq/L前後の全ベータの検出は、海水中の天然カリウム（十数Bq/L）の影響を受けているもの。

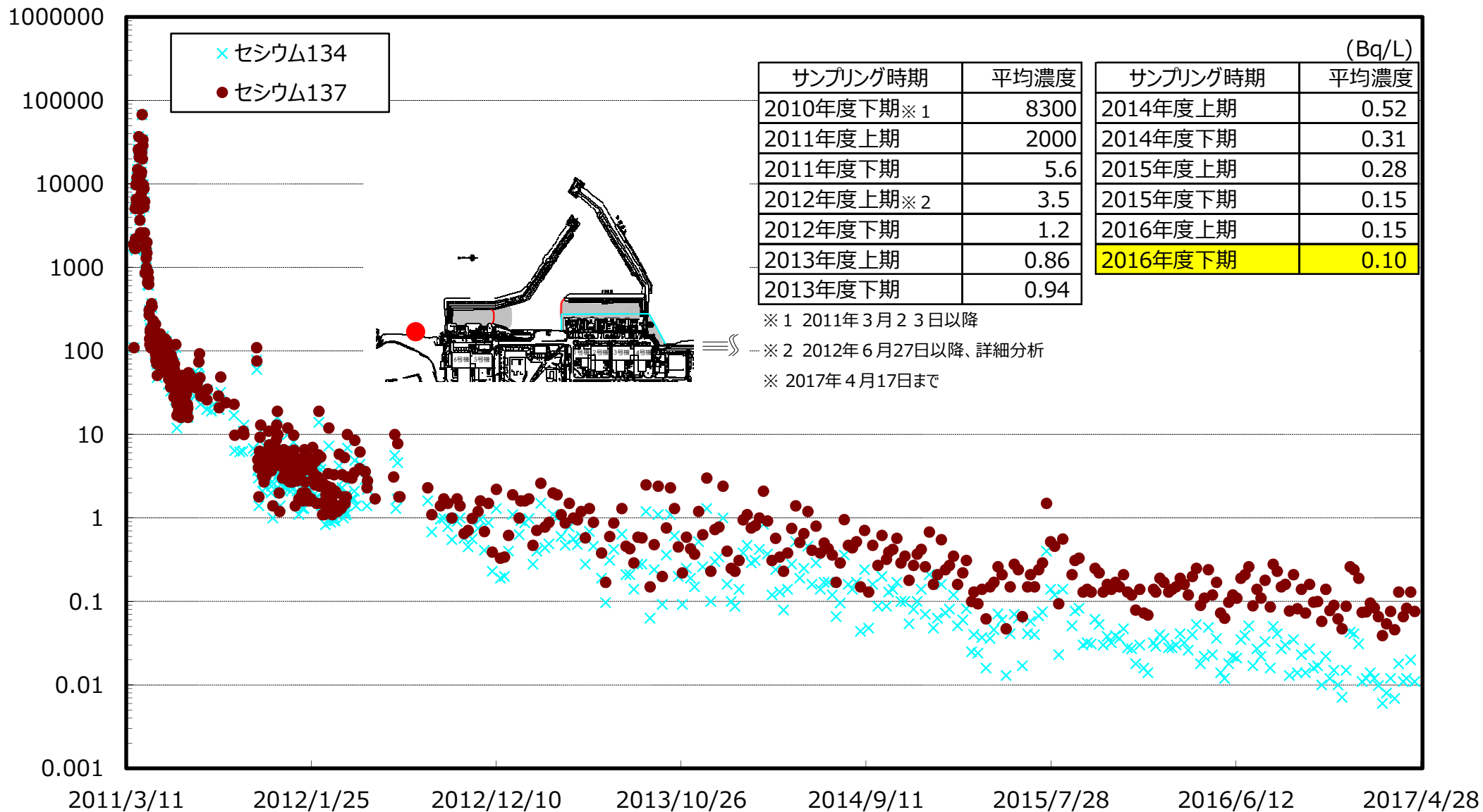
※5,6号機放水口北側（T-1）、9/13～南放水口約330m南（T-2）のセシウム137については、週1回の頻度で詳細分析を実施。

【5, 6号機放水口北側】 海水サンプリング結果

2012年6月以降、
詳細分析結果をプロット

(ベクレル/リットル)

福島第一 5,6号機放水口北側 海水セシウム濃度

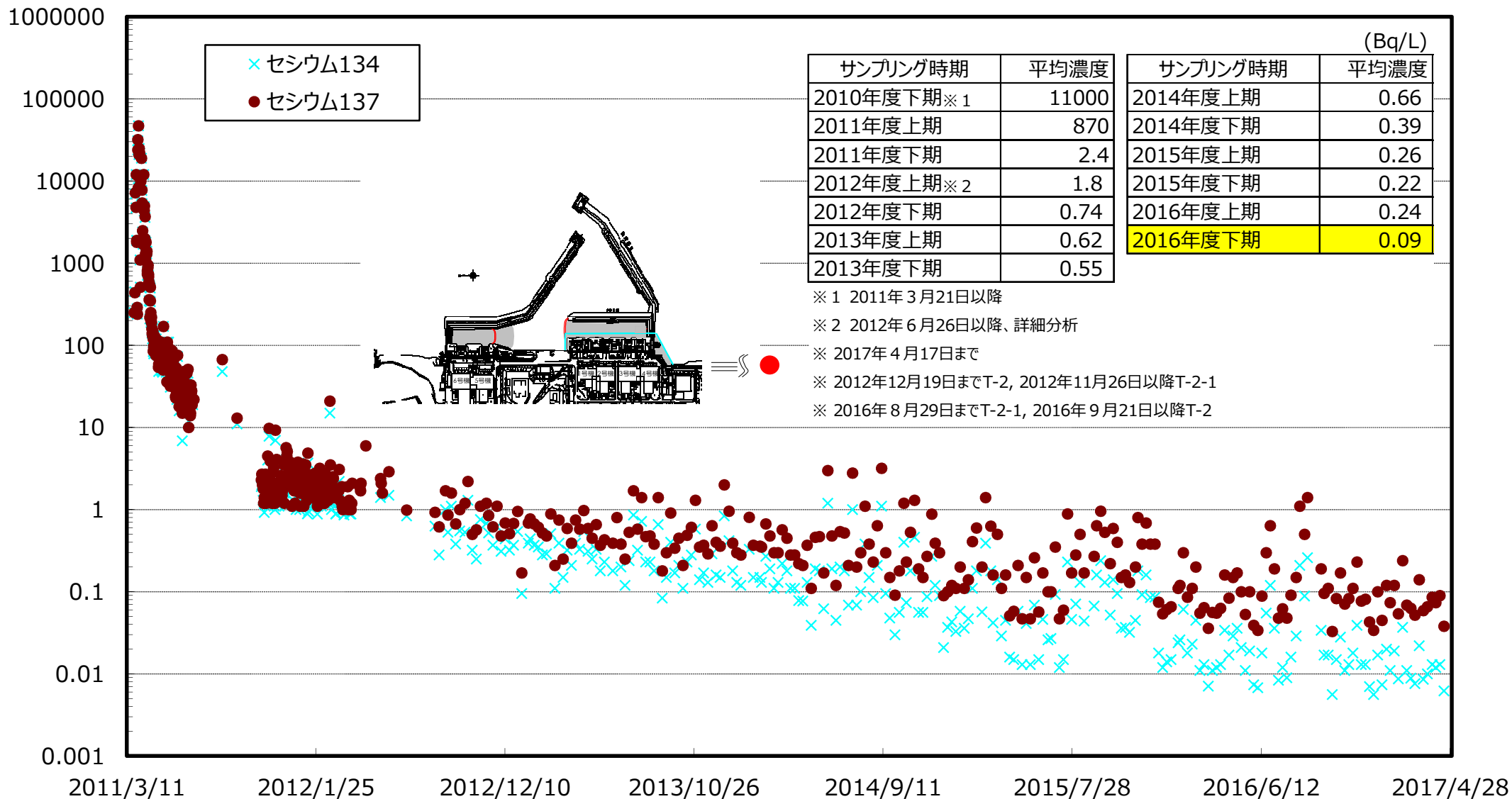


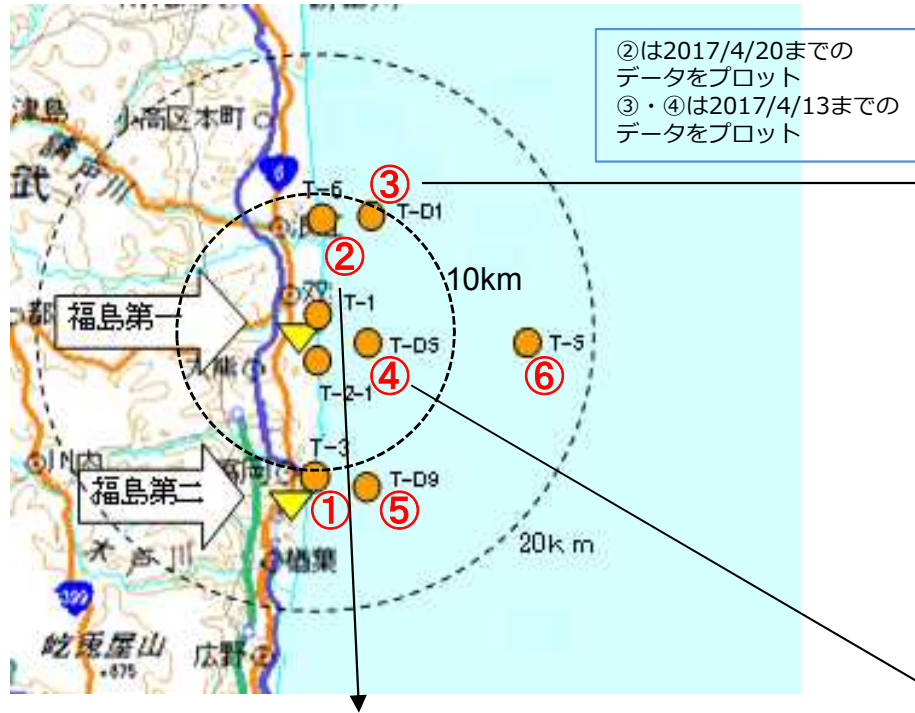
【南放水口付近】 海水サンプリング結果

2012年6月以降、
詳細分析結果をプロット

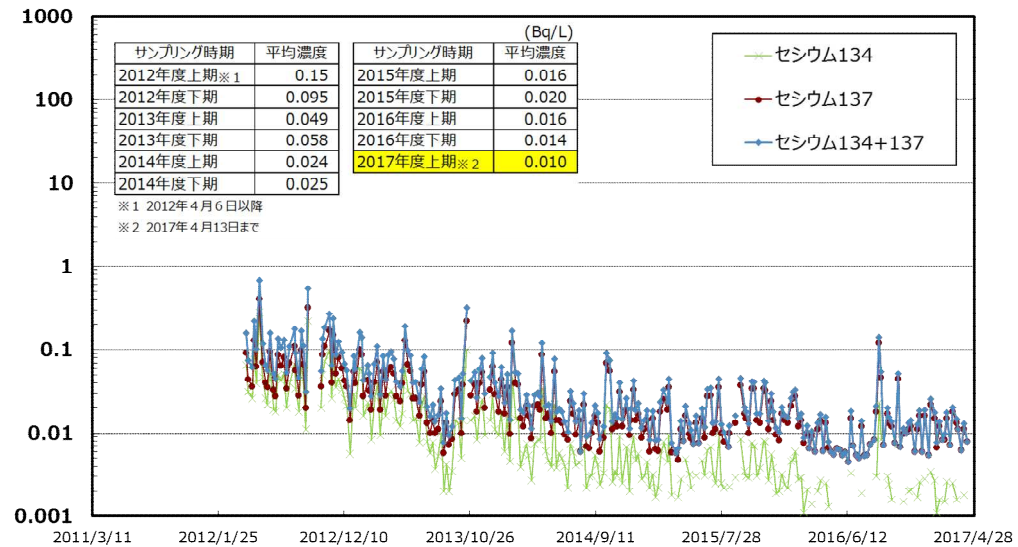
福島第一 南放水口付近 海水放射能濃度

(ベクレル/リットル)

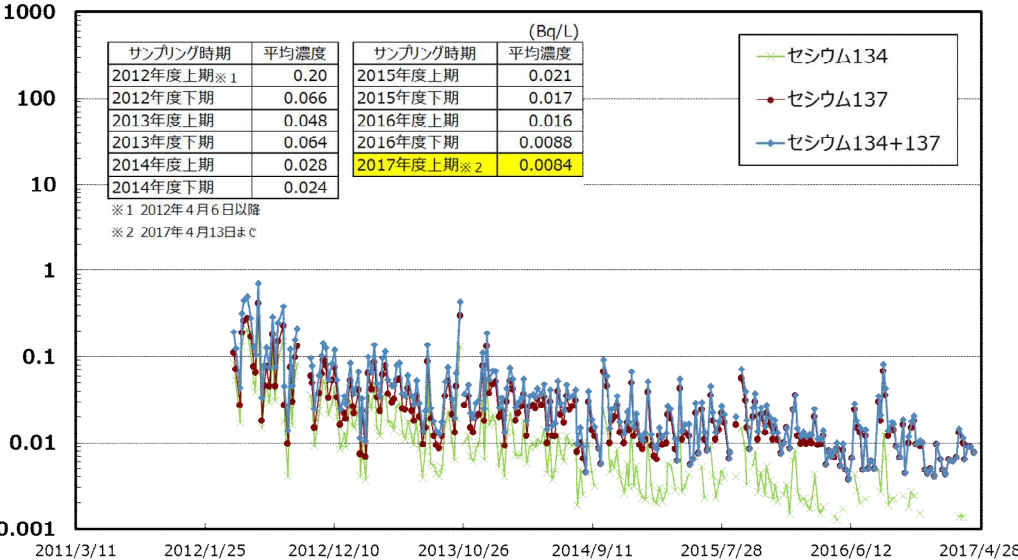




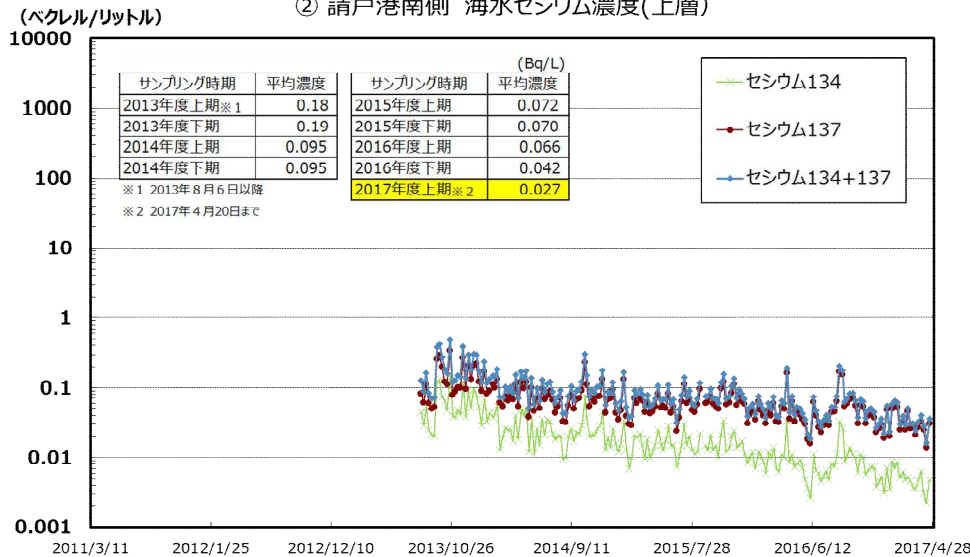
③ 請戸川沖合3km (T-D1) 海水セシウム濃度 (上層)



④ 福島第一 敷地沖合3km (T-D5) 海水セシウム濃度 (上層)

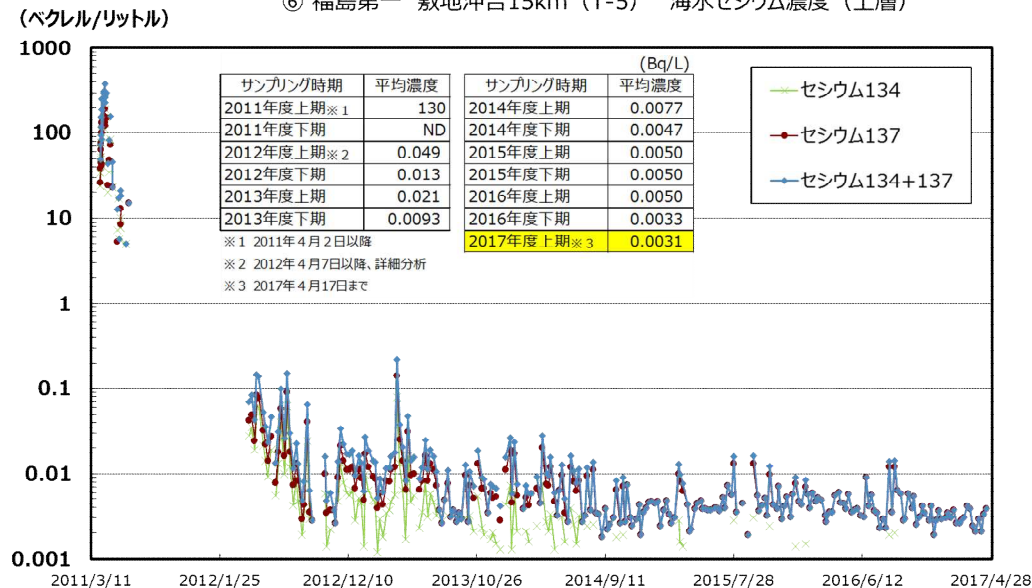


② 請戸港南側 海水セシウム濃度(上層)

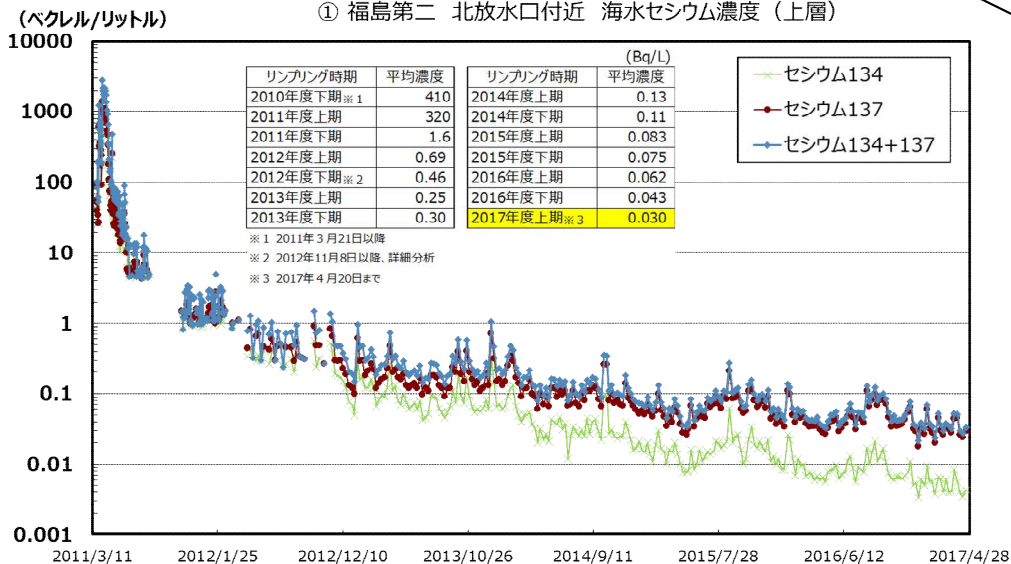




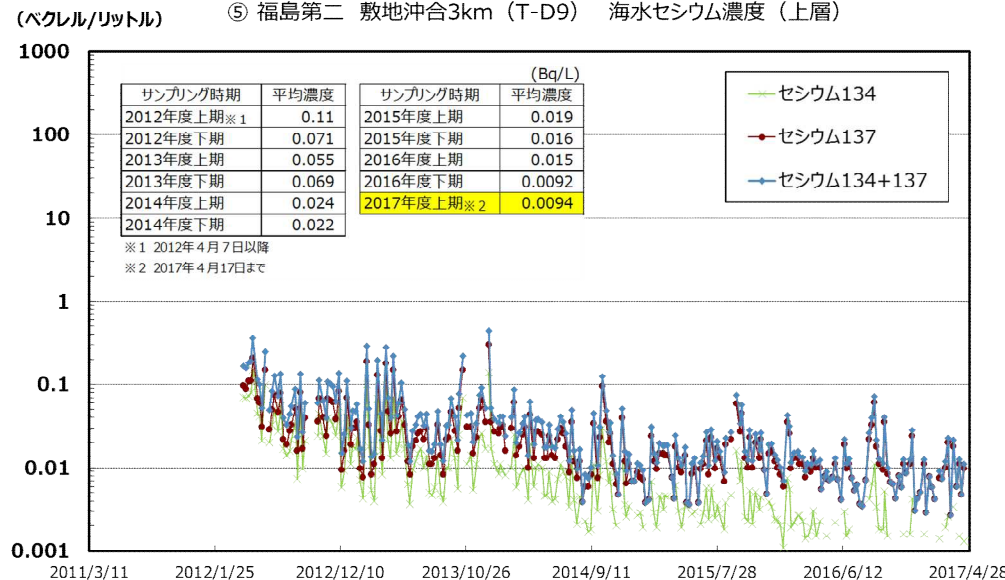
⑥ 福島第一 敷地沖合15km (T-5) 海水セシウム濃度 (上層)



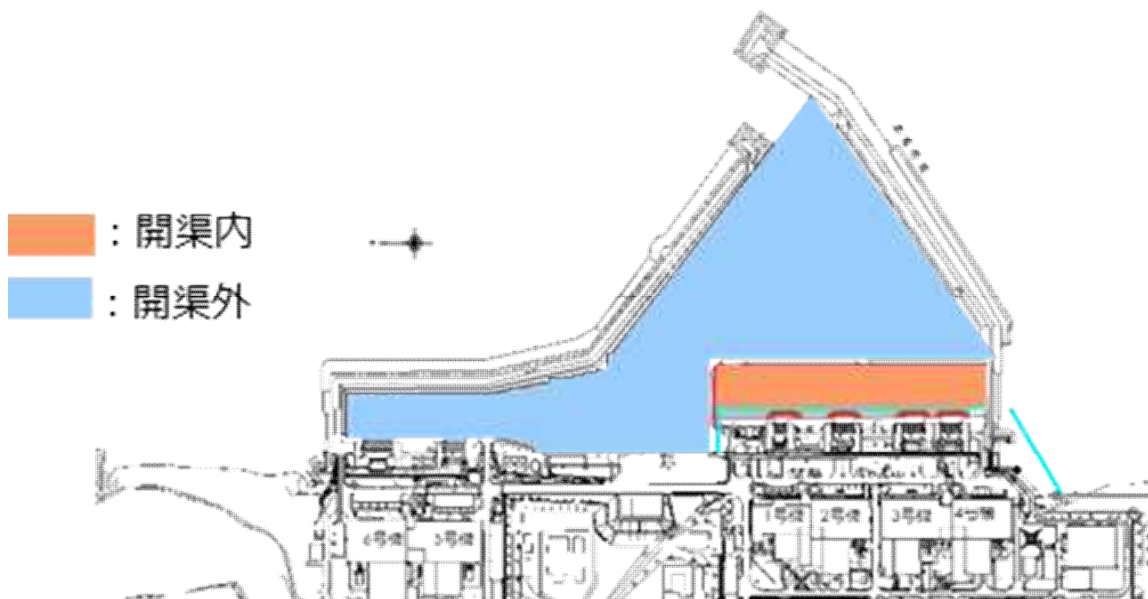
① 福島第二 北放水口付近 海水セシウム濃度 (上層)



⑤ 福島第二 敷地沖合3km (T-D9) 海水セシウム濃度 (上層)



<参考> 海側遮水壁閉合前後の海水中放射性物質濃度平均値



		(Bq/L)		
		前5日間 平均値	後5日間 平均値	至近 平均値※
全β	開渠内	150	26	18
	開渠外	27	16	17
Sr-90	開渠内	140	8.6	0.78
	開渠外	16	2.1	0.074
Cs-137	開渠内	16	3.8	3.2
	開渠外	2.7	1.1	0.56
H-3	開渠内	220	110	15
	開渠外	1.9	9.4	2.3

※ 全ベータとセシウム137は5/10, ストロンチウム90開渠内（速報値）は4/24, ストロンチウム90開渠外は3/20, H-3は5/1に採取した各地点の平均値

<参考> 2017年度 海域モニタリング変更点について

▶ 2017年4月28日総合モニタリング計画が改訂され、当社実施分も一部変更。変更点は以下。

変更内容	変更前	変更後	変更理由
近傍海域 海水・海底土 採取ポイントの変更	T-2-1 (1~4号機放水口から南側に約1.3km地点)	T-2 (1~4号機放水口から南側に約280m地点)	台風10号の影響により、T-2-1試料採取地点の安全が確保できないため、2016年9月16日からT-2地点において試料を採取している
近傍海域 海水 ストロンチウム90検出下限値の変更 T-1, T-2※1	0.01Bq/L	0.001Bq/L	至近の測定結果が検出限界未満となっており、目標検出下限値を一桁下げる分析体制が整ったため
沿岸海域 海水 ストロンチウム90検出下限値の変更 T-5, T-D1, T-D5, T-D9※2	0.01Bq/L	0.001Bq/L	同上

※1 T-1：5,6号機放水口北側 T-2：南放水口付近海水

※2 T-5：福島第一 敷地沖合15km T-D1：請戸川沖合3km T-D5：福島第一 敷地沖合3km T-D9：福島第二 敷地沖合3km

▶ 2017年4月より、1F港湾内モニタリングについても一部変更。変更点は以下。

変更内容	変更前	変更後	変更理由
港湾内 海水 ストロンチウム90検出下限値の変更 物揚場前	0.1Bq/L	0.01Bq/L	至近の測定結果が検出限界未満となっており、目標検出下限値を一桁下げる分析体制が整ったため

<参考> 敷地内地下水のモニタリング状況

■ 全般的に、過去の変動範囲内で推移しており、大きな変動は見られない。

No. 0-1

セシウム137: 32 (5/15)
全ベータ : 140 (5/15)
トリチウム : 9,400 (5/15)

No. 1-9(地盤改良部分よりも海側)

セシウム137: -※1 (5/19)
全ベータ : ND<15>(5/19)
トリチウム : 600 (5/17)

No. 2-7(地盤改良部分よりも海側)

セシウム137: 0.74 (5/18)
全ベータ : 310 (5/18)
トリチウム : 970 (5/15)

No. 3-5(地盤改良部分よりも海側)

セシウム137: -※1 (5/18)
全ベータ : 60 (5/18)
トリチウム: ND<110> (5/11)

No. 0-2

セシウム137: ND<0.58>(5/15)
全ベータ : ND<14> (5/15)
トリチウム : 360 (5/15)

No. 1-8

セシウム137: 670 (5/16)
全ベータ : 8,300 (5/16)
トリチウム : 4,900 (5/16)

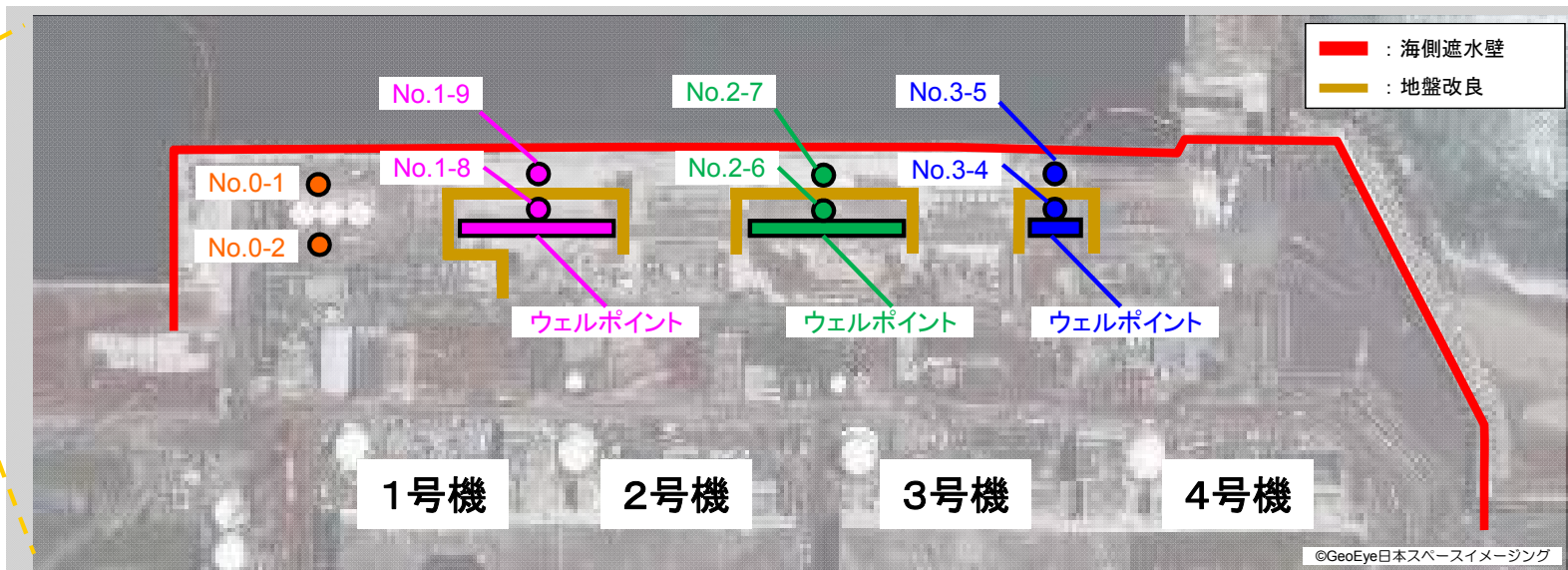
No. 2-6

セシウム137:ND<0.53>(5/19)
全ベータ : 49 (5/19)
トリチウム : 1,000 (5/17)

No. 3-4

セシウム137: 4.8 (5/18)
全ベータ : ND<14> (5/18)
トリチウム : 1,800 (5/11)

単位 : ベクレル/リットル
ND : 検出限界値未満
<> : 検出限界値



1・2号機ウェルポイントくみ上げ水

セシウム137: 14 (5/16)
全ベータ : 300,000 (5/16)
トリチウム : 19,000 (5/16)

2・3号機改修ウェルくみ上げ水

セシウム137: 採取なし
全ベータ : 採取なし
トリチウム : 採取なし

3・4号機改修ウェルくみ上げ水

セシウム137: 採取なし
全ベータ : 採取なし
トリチウム : 採取なし

【参考】 法令告示濃度 (単位 : ベクレル/リットル)
・セシウム137 : 90 ・全ベータ : 30 ・トリチウム : 60,000

※1: No.1-9, No.3-5は採水器による採取のため、γ測定(セシウム)は実施せず、全ベータは参考値として過後に測定。